

# 三面地域まちづくり計画



平成24年3月制定  
平成29年4月変更  
三面地域まちづくり協議会

# 三面地域まちづくり計画

## はじめに

平成20年4月に、村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5つの市町村が合併し新村上市が誕生しました。村上市では平成21年度に第1次村上市総合計画が策定され、市の将来像を「元気“eまち”村上市」と定め、将来像を実現するための重点戦略として「定住の里づくり」としました。



これまで村上市の各地域では、自治会(集落)、公民館、老人会、婦人会、PTA、防災組織、福祉ボランティア、趣味のサークルなどがさまざまな活動をしてきました。しかし、急速な社会の変化と過疎化、少子高齢化が進む中、市民のニーズは多種多様化し複雑な地域課題が増えてきました。

こうした課題を解決するため、地域のあらゆる人たちが一体となり、意見を出し合い、ともに協力して活動し、均衡ある地域の発展と活性化を図る組織として、旧5市町村の実情に合わせたまちづくり組織が設立されることになりました。



朝日地区においては、昭和の大合併前の旧村単位となる5つの地域で、まちづくり協議会を組織することになり、この度「三面地域まちづくり協議会」を設立する運びとなりました。

地域の個性や魅力を生かし、住民が本当に「ここに住み続けたい」「住んで良かった」と実感できるまちづくりを実現するために「三面地域まちづくり計画」を策定いたしました。

## 1 地域の特徴、課題

三面地域は、雄大な朝日連峰を源とする三面川が中央を流れ、その川沿いに岩崩、荃太、千縄、新屋、中新保、堀野、石住、上中島、布部、猿田の10集落が点在し、1,410人、393世帯が暮らしています。(平成24年1月1日現在：住民基本台帳)



また朝日スーパーライン、三面ダム、奥三面ダム、二子島森林公園、縄文の里朝日、布部やな場など自然や歴史文化を利用した観光施設に恵まれており、地域を訪れる人は多く、夏には鮎釣りの人々などで賑わいを見せています。

しかし、昭和30年に3,599人だった人口も、社会情勢の変化や奥三面ダム建設に伴う集団移転等により、今では当時の半数にも満たず、少子高齢化が進行し、後継者不足により地域のコミュニティ活動や災害時の対応に支障をきたし始めていることから、新たなまちづくりを進める必要があります。

■三面地域人口推移

単位：人

区分	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成22年
人口	3,599	2,687	2,222	2,006	1,949	1,535	1,366
増減	—	△912	△465	△216	△57	△414	△169

注) 数値は国勢調査

## 2 地域のまちづくりの理念、将来像（目標年度：33年度）

三面地域まちづくりの理念を「三面の雄大な自然と伝統・風景を大切にしながら、活気と地域愛に満ちたまちをつくる。」とし、次の4つの将来像の実現を目指します。

- 一. 地域で支え合うという意識が高く、子供からお年寄りまでが安心して生き生きと暮らせるまちを目指します。
- 一. 豊かな自然環境が守られ、美しい里山の風景があるまちを目指します。
- 一. 集落行事やスポーツ大会を通じて、住民同士の交流が盛んに行われ、お互いのつながりが強いまちを目指します。
- 一. 三面の魅力に惹かれ訪れる人で賑わうまちを目指します。

## 3 具体的な取組みの方向性、実施事業等（計画年度：24年度～33年度）

基本方針	取組みの方向性や実施する事業
地域情報などを内外に積極的に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報誌により情報を発信する。</li> <li>・情報の発信と手法を研究する。</li> </ul>
地域住民の交流と健康増進を図るイベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体のイベントを行う。</li> <li>・地域資源を活用したイベントを開催する。</li> </ul>
地域活性化のため集落活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落事業に助成金を交付し集落の活性化を図る。</li> <li>・地域おこし協力隊員等の活動を支援する。</li> </ul>
地域のキーマンを養成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成のための研修を実施する。</li> </ul>
内外の交流を促進するための活動を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携事業を推進する。</li> </ul>
地域の課題を把握し、解決のための研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題解決のための研究を行う。</li> </ul>

#### 4 事業計画年度（実施年度：24年度～33年度）

基本方針	事業項目	実施年度										備考
		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
地域情報などを内外に積極的に発信する。	地域情報の発信						●	●	●	●	●	
	情報発信手法の研究						●	●	●	●	●	
地域住民の交流と健康増進を図るイベントを開催する。	地域全体イベントの開催						●	●	●	●	●	
	地域資源活用イベントの開催						●	●	●	●	●	
地域活性化のため集落活動を支援する。	集落活性化支援事業						●	●	●	●	●	
	地域おこし協力隊員等の活動支援						●	●	●	●	●	
地域のキーマンを養成する。	人材育成研修						●	●	●	●	●	
内外の交流を促進するための活動を進める。	連携事業の推進						●	●	●	●	●	
地域の課題を把握し、解決のための研究を行う。	地域課題研究						●	●	●	●	●	